

<支援プログラム>

作成日 R7年3月17日

児童発達支援事業:こども発達支援ルーム ぼのKIDS

法人理念:～希望ある未来へ～
地域の中での発達支援の中核的役割を担い、
子どもの育ちのために全方位からのサポートを追求します。

支援方針:～安心の環境で、ゆったり育む その子らしい未来支援～
穏やかな環境と暖かいかわりの中で、身辺自立を支援し、
一人ひとりのペースを大切にしたいサポートを提供します。

サービス提供時間:9:15～11:00(小集団)、13:00～13:45(親子通所)、14:00～14:45(親子通所)

開所時間:9:00～17:00

送迎実施:あり(要相談～小集団支援)/なし(親子通園)

支援内容

<目指す発達支援>

- 1 日常生活に必要な力
⇒排泄や身支度、基礎的な運動能力、理解する力等の日常生活に必要な力を身につける
- 2 社会性やコミュニケーション能力
⇒「見通しを持つ」「指示を理解する」「要求を伝える」などの社会性やコミュニケーション能力を身につける
- 3 安全基地
⇒「安心」「安全」の支援環境または人的環境の中で、より良い経験を重ねることで、発達を促します

本人支援

【健康・生活】

健康状態の維持・改善

生活リズムや生活習慣の形成

基本的な生活スキルの獲得(食事、排泄、衣類の着脱など)

【運動・感覚】

粗大運動(体づくり、ジャンプ、ボール遊び等)や微細運動(つかむ、ひっぱる等)を通じて基本的な動作の向上を目指す

感覚過敏な子どもたちへの配慮や、感覚の特性に合わせた支援

五感を刺激する活動の提供

【認知・行動】

色や数字など、さまざまな興味関心の幅を広げる活動の提供

子どもたちが認知しやすい環境の整備

絵カードや実物での視覚的な支援(スケジュール掲示)や50音表、時計やタイマーを使用した支援

【言語・コミュニケーション】

絵カードやホワイトボード、ジェスチャーなどのサインを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援

【人間関係・社会性】

他者との関わり方や社会的ルールの理解を促す支援

集団生活における適応力の向上

地域支援

地域全体で発達に課題のある子どもを支えるための取り組みです。

【具体的な内容】

地域の保育園・幼稚園・学校との連携:先生向けの発達支援研修や情報共有

相談窓口の設置:保護者や関係機関からの相談対応

家族支援

発達障がいのある子どもを育てる家族へのサポートです。

【具体的な内容】

家族カウンセリング:ご相談内容に合わせた心理的サポート

兄弟支援:発達障がいのある子どもの兄弟姉妹へのケア

移行支援

幼児期から学童期、学童期から成人期へのスムーズな移行をサポートする支援です。

【具体的な内容】

就学前支援:小学校入学に向けた適応トレーニング(集団生活・学習習慣の準備)

放課後等デイサービス:学校終了後や休日に利用できる支援場所の提案

主な行事

- ・避難訓練(年2回の消防車を呼んで、総合避難訓練)
- ・わくわくタイム(スタッフによる月1回の季節の催し)
- ・身体測定(毎月の実施)